

報道関係各位

2026 年 8 月 13 日

工学院大学ソーラーチームが国内最長級のソーラーカーレース 「ワールド・グリーン・チャレンジ 2026」で優勝

工学院大学(学長:今村 保忠、所在地:東京都新宿区／八王子市)の学生プロジェクト「工学院大学ソーラーチーム」は、8月9日(日)～11日(火・祝)に大潟村ソーラースポーツライン(秋田県大潟村)で行われた「ワールド・グリーン・チャレンジ 2026」に出場し、チャレンジャー・クラスで2018年以來8年ぶり、通算5度目の優勝を果たしました。2025年にオーストラリア大陸3,000kmを完走した7号機「CYGNUS(シグナス)」で3日間を走破。世界大会で培った技術とチームワークを、国内大会での結果につなげました。

部門	順位	周回数	走行距離
チャレンジャー・クラス	優勝	218 周 (短縮コース、ペナルティー含む)	1,308km



(左)チャレンジャー・クラスで優勝した工学院大学ソーラーチーム、(右上)7号機 CYGNUS、(右下)ピット作業の様子

大会当日の様子

初日は順調に周回を重ね、首位で走行を終えました。2日目は2度のパンクに見舞われ、ペナルティーによる減点も受けたものの、首位を堅持。最終日は2位チームと最終周まで首位を争う展開となりました。チームは走行データを分析し、限られたエネルギーを最大限に生かす走行戦略を組み立てながらゴールを目指しました。最終周まで緊張感のあるレースが続く中、最後まで走り切り、3日間の総合力を優勝につなげました。

工学院大学ソーラーチーム リーダー

島田 琉海さん(機械システム工学科4年)

本当にうれしい。レースではパンクやペナルティーなど厳しい場面もありましたが、チームの対応で乗り越えました。世界大会で培った技術力とチームワークを結果につなげられたことをうれしく思います。支えてくださった皆さまに感謝し、次の大会に向けて挑戦を続けます。

「ワールド・グリーン・チャレンジ」は、1周25kmのコースで車両性能、エネルギーマネジメント、ドライバー交代、ピットワークなど、チームの総合力を競う耐久レースです(今大会は付近での熊の出没を受け、1周6kmの短縮コースに変更)。工学院大学ソーラーチームは2024年大会で3位、2025年の世界大会では日本勢2番手の13位で完走しました。

大会公式:<https://wgc.or.jp/> チーム特設:<https://www.kogakuin.ac.jp/solar/index.html>

<取材に関するお問い合わせ>

学校法人 工学院大学 経営企画部／担当:落合

TEL: 03-3340-1498 / [お問い合わせフォーム](#)